

体験版

お嬢様を
ご褒美に
させていただきます！

チャラ男から守る方法は

こちらをご覧ください！

「まあ、あんた私のこと好きすぎるっ♡」

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

※本作にNTRシーンはありません

基本CG **17** 枚 差分 **372** 枚 総枚数 **738** 枚

【今作のヒロイン】

真面目で面倒見のいい幼馴染ちゃん

- 名前は時灯香織 (ときとう かおり)
- 処女 (エッチなことに寛容的で、オナニーはよくする方)
エッチな知識はまあまあ豊富で、ラブホに興味があるお年頃
- 性格は活発で、ハキハキものを言うタイプ
少々ガサツな印象を受けるが、実際は結構繊細で乙女
強く求められると、物凄く燃え上がっちゃうM子ちゃん
- 自己評価が低めで、自身に告白してくる男なんて
いないと思っているが、男子の間では結構人気が高い
- 私 (貴方) が小学生の時に誕生日プレゼントであげた
ヘアピンを今でも大事にし、毎日つけている
- ある日私 (貴方) から大事な話があると言われ、
部屋に訪れたところ、愛の告白を受けることになるが……



【今作のかませ犬】

最低クズ野郎と定評のチャラ男さん

- ・名前は堂島 光一 (どうじま こういち)
悪友からのあだ名は「光ちゃん」
- ・性格は乱暴、横暴、短気と問題ありあいな性格
一応勉強は出来るし、顔もいいので、
初対面の女性からの印象はそこまで悪くはない
これまで数々の女性を食い散らかしてきた問題児
- ・実家は地元では有名な不動産会社で、結構なお金持ち
父親は実力主義&弱肉強食主義らしい
父親に苦手意識を持っており、早く親元を離れたらしい
- ・実はそんなに身長が高くない……指摘するとマジギレする
- ・新しい獲物として、私 (貴方) の幼馴染である
香織に目をつけたのだが……



あらすじ

私（貴方）はごくごく普通の、どこにでもいる学生だ。強いて人と違うところをあげると言われたら、

小説投稿サイトに書き溜めた作品をUPしている点くらいだろう。といっても有名学生作家とかではなく、素人感丸出しの文章で、新作を投稿しても、見向きもされない底辺投稿者である。

小説投稿サイト内では今、現実系、ファンタジー系に関わらず、「寝取られ」や「ざまあ」をメインにした作品が大流行中だ。しかし、そういったジャンルが苦手な私（貴方）が作る小説は、昔ながらの王道ファンタジー系がメインとなっている。

だが、ちよこちよこある誤字、表現力の足りない文章、使い古されたベタな展開などのせいで、鳴かず飛ばず状態だ。それでも物語を作る楽しさを知っている私（貴方）は、ランキングの上位に表示されるのを目標に、夜更かしをして、自分の作りたい小説を書き続け、ようやく完成させた最新話を朝の登校前である今、急いでサイトに投稿中なのだ。パソコンの画面に「投稿完了」と表示されると同時に、一階から母の声が聞こえてきた。

「香織ちゃんが迎えに来てくれてるわよ、早くしなさい」

おいっす、今日も朝から眠たそうな顔してるねえ
また夜遅くまで小説書いてたん？

えっ、最新話UPしたんだ……そっか、それじゃあ今回も、
この香織様が誤字脱字チェックしてあげるから感謝しなさい

オハヨー
(´-ω-)



朝から元気に人の小説が誤字脱字だらけという前提で、話を進めてくるこの女の子は、時灯 香織（ときとう かおり）家が近所で、子供のころからの腐れ縁の幼馴染というやつだ

彼女は私（貴方）が小説を書いていることを知っている

数少ない人物だ……ちなみに両親は知らないし、

今の学校の友人達には誰にも言っていない

ろくな実績もないのに、物書きだなんて名乗っても虚しいだけだ

私（貴方）は小学生のころ、自由帳に真似事で書いていた

小説とは呼べないレベルの文章を彼女に読ませては、

「俺は将来有名作家になる！」なんて恥ずかしい宣言をしていた

そんな私（貴方）の黒歴史を知っている危険な相手であるが、

同時に自分の書いた物語を真剣に読んでくれて、

話の続きを楽しみに待っていてくれたのが嬉しくて、

文章を書き続けていくうちに、物語を作る楽しさ、

自分が作った小説を読んでもらえることの喜び、

色々なことに気付かせてくれた、大事な読者第一号でもある

しかし、だからといって今の自分の作品が誤字脱字だらけだと

決め付けられるのは侵害である……抗議をせねば！

お？ なんですか、その不服そうなお顔は？

この間の現国のテスト、あんたより点数、上だったよ〜

先週投稿した話の時も三箇所、誤字を見つけてあげたのにな〜

そんな私に、抗議する気なのかなあ、君は？

ゲヌヌ
(;´皿`)



そうそう、あんたにたくさん感謝される「とはあっても、
抗議されるいわれはないからね、ぶぶっ♪
さてと、ダラダラ立ち話なんかしていると遅刻しちゃうよ
ほら歩け歩け、ゴーゴー!!

カンシャシテマス
(;´ω`)



流行の「ざまあ」系に挑戦したほうがいいかって？

んゝ別に無理して今の流行に乗らなくてもいいんじゃない？

そりゃあランキングには載りたいのかもしれないけどさゝ

あんたいつも言ってるじゃん、書きたいものを

書くのが楽しいって……今はそれでいいと思うよ

それに私、あんたの王道テンプレ小説好きだよ、ふふっ♪

テンプレウナツ!

(`・D・)

ん？どうしたのさ、急にソワソワしだしちやうて……えっ！
お腹が痛いって、大丈夫？保健室行く？……違っ？
小説投稿するのに忙しくて、朝トイレに行ってなかったあ？
もうっ、なにやってるのよあんたはっ！
ほらっ、鞆は私が教室に持って行ってあげてるから、
早くトイレ行ってきなさいっ！

アリガトツ

(; > 皿 <)

強烈な便意に襲われながらも、流石に多くの生徒が

利用する教室側のトイレは使い辛いと考えた私（貴方）は、
本校舎から離れた、人気の少ない実習棟にあるトイレに向かった
思惑通り誰もいないトイレの個室に駆け込み、事なきを得た

開放感にひたりながら、水を流しドアを開けようとしたが、
複数の足音が聞こえてきたので、とっさに個室内に残ってしまった
流石に小学生ではないので、個室から出てきたところで

からかわれはしないが、それでも多少の引け目があったのだ

しばらくすると、やってきた複数の生徒達が何か喋り始めた
話の内容と雰囲気から察するに上級生のようだった

今出て行くのも、なんとなく気まずいので、

次の小説の構想を考えつつ時間を潰すことにした私（貴方）

上級生達のどうでもいい会話を右から左に聞き流しながら

アイデアを練っていたが、知っている人の名前が出てきた気がので、
気になって外の生徒達の話に耳をかたむけることにした

今、幼馴染である香織の名前を出していたような気が……

光ちゃんささ、なんで最近真面目に委員会の仕事してんだ？

あ、それ俺も思った……今更内心点稼ぎとかかWWW

ばか、ちげえよW 進学なんて、親父のコネ使えば余裕余裕

出たよW 堂島会社の御曹司さんは羨ましいいねえWWW

んじやあ、なんで清掃委員の仕事やってんだ？

あんなの真面目君たちにおしつけちゃえばいいのささ



実はな、次の獲物って決めてる女がこの委員会にいるんだわ

うっはっW なんだよ、もうあの女捨てたのかよWWW

彼氏いたのに無理矢理奪っておいで、即ポイ捨てとかひでえW

奪うのが楽しみであって、奪った後の女に価値はねえってW

うげえ、マジ鬼畜W それで次の女は誰なんだ？

ああ、学年は一つ下で、名前は時灯香織って女だ

時灯……去年委員会一緒だったわ俺、確かに可愛かったな
でもあの女にも彼氏がいたような気がしたけど

ああ、彼氏ではないが、仲のいい幼馴染の男がいるらしい
そこがまたいいんだよ、自分の女だと錯覚してるヤツの横から
サツとその意中の女を奪う……で、残された男の惨めな顔を
奪った女と一緒にゲラゲラ笑いながら見てやるのさw
うげえ、俺がそれされたら不能になりそうだなわw

お前ら知ってるか？ 一丁二丁のオタク君たちの中では

BSSSって言うらしいぞ

BSSS？ なんだそりゃ？

「僕が先に好きだったのに」の略なんだとwww

うっはw なんだよそれ、ウケるwww

お前らも、もう少し勉強して学を身につけるよwww

学関係ねえし、あっても光ちゃんには言われたくねえよってばw

外の生徒達はゲラゲラと下品な笑い声を出しながら去って行った
私（貴方）は一人、トイレの個室に残り、
今聞いた話の内容を整理しようと必死になっていた

外で喋っている人物が誰だか理解できた……できてしまった

堂島光一（どうじま こういち）

最上級生で、校内でも有名なチャラ男のゲス野郎だ

女癖が非常に悪く、あちこちの女生徒に

手を出してはポイ捨てを繰り返しているらしい

そして地元では有名な堂島不動産の御曹司でもあるため、

先生ですら迂闊に注意できない相手と噂されている

そんな最低な男に、まさか香織が目をつけられるだなんて……

しかもあいつは私（貴方）のことも知っていると云っていた

私（貴方）達の関係を十分に理解したうえで、

香織を奪い、香織を香織でなくしてから、

一緒に私（貴方）のことを面白おかしく笑ってやると言っていた

どうすればいい、どうしたらいい……考えれば考えるほど

わからなくなり、背中はや汗でグツシヨリ濡れていた

予鈴が鳴るのが聞こえたので仕方なく、

ノロノロと個室から出て、重い足取りで教室へ戻っていった

トイレから教室に戻ると、香織が心配してくれたが、
適当に返事をし席に着くと、担任がきてホームルームが始まった
授業中は流石に心配ないが、休み時間や昼食時は香織の側を
離れないようにし、下校時も一緒に帰った

幸いなことにこの日、堂島が姿を現すことはなかった

香織と別れ、家に帰り自室のベッドに横になつて考える

堂島という下劣な男が、幼馴染である香織を狙っている

自分はそれに強い焦りと憤りを感じている……なぜか？

答えはすぐに出た……私（貴方）は香織のことが好きなのだ

腐れ縁の幼馴染で、文章を書く楽しさに気付かせてくれた

自分の大事な大切な読者第一号である彼女のことを

一人の女性として好きだからこそ、こんなに動揺していたのだ

今更ながらに自分の本心を理解したが、タイミングが最悪である

どうすれば彼女を堂島の毒牙から守ることができるのか

色々考えてはみたが、結局解決策を見つけないことができず、

一時的な現実逃避の為、小説投稿サイトを見て周ることにした

小説のランキングを見ると、相変わらず上位作品は

「寝取られ」や「ごまあ」系作品で埋まっていた

いつもなら読まないが、少しでも気を紛らわせたかったので、

ランキングの上位作品をクリックし、読み始めることにした

小説ランキングの上位作品をある程度読んだところで、
現実逃避を止め、再び考えをめぐらせる

先ほどまで読んでいた小説に現状を打開できるヒントがあったのだ
ランキングしている寝取られ系小説には、

友達以上恋人未満な関係の幼馴染がよく登場している

多くの主人公達はその幼馴染に対し、好意を伝えなくても、

あいつならわかるだろうと余裕ぶつた態度をとっていたりする

そんなある日、行動力のあるチャラ男が登場し、

幼馴染を熱心に口説く……彼女も徐々にチャラ男に感化され、

最後は主人公に暴言を吐いて去っていくのが定番となっていた

物語はそこから真のヒロインが登場し、主人公と二人で

幼馴染とチャラ男に対して、「ざまあ」をしていくのだが、

ここら辺はどうでもいい部分なのでカットだ

何が言いたいかというと、恋愛とは結局早い者勝ちで、

行動した者こそ真の勝者だと……つまりはそういうことなのだ

もしここで「香織はただの幼馴染だし」と強がったり、

「あいつは堂島の誘いになんかのらない」と高をくくったりすると、

寝取られ系作品の主人公と同じ目にあうことになるだろう

物語だこの後、真のヒロインの出番だろうが……これは現実だ

それに、香織こそが私（貴方）にとって、真のヒロインなのだ

ならば私（貴方）はどうすればいいのか……答えは簡単だ
堂島が行動を起こす前に、香織に告白をすればいい
それと同時に堂島に狙われていることを伝えなくてはいけない
告白して振られようが振られまいが、最低限奴の毒牙にかかる
可能性はこれで、だいぶ下がってくれることは間違いない

そして香織が告白を受け入れてくれたのなら、

彼女のことを大切に大事に愛しみ愛でて愛を囁き、

他の男など眼中にないほど自身に惚れさせればいい……つまり、

他の男にとられる前に

香織を自分の女にすればいい

まさか敬遠していた寝取られ系小説のおかげで、

この結論に達することができるとは、食わず嫌いはよくない

誰にも邪魔されたくないのも明日の放課後、

彼女を部屋に招いて警告と告白をすることにしよう

幸い明日は金曜日、母親もパートの遅番でしばらく帰ってこない

恋愛の極意は先手必勝、堂島に彼女を渡す訳にはいかない！

お、久しぶりにあんたの部屋に来たかも

前より綺麗になってんじゃん、感心感心〜♪

そういえば今日おばさんは？ パートの遅番？ ふ〜ん

んで、大事な話ってなに？ 小説のネタに詰まったとか？

お〜

ハナシガアリマス
(´・ω・`)

えっ、堂島先輩？ うん、同じ清掃美化委員だけど……
なになに？ 大事な話って小説関係じゃないの？
ええっ！ 堂島先輩が私のことを狙ってるから、
気をつけたほうがいいって……またまた

またまた

キョツケテ!

(;・ω・)

確かに最近、委員会の活動中に声かけてもらおうとあるけど、別に何も無いよ？ まあ、確かに怖い雰囲気の人だけけどね。そもそも私を狙う意味がないって、私より可愛い子なんてたくさんいるし……というか、私のことを好きだって言ってくれる男子なんていないって、あははっ……えっ？

あははっ

イルダナーココニ
(´-ω-)

あれでしょ？ 友達同士で賭け事して、

あんたが負けたから、罰ゲームで嘘告して「いいみたいなの？」

ダメだぞ、冗談でもそういうことしちゃう

結構本気で信じちゃう子とかいるわけだしさ

……嘘じゃないの？ ほっ、本当に私のことが……好き？

あうん

ホンキダヨツ!!

(`・D・)

だって、さっきも言ったけど、私なんか可愛くないし、美人でもないから、「こんな私でもいいのかなって思っちゃっよ」「そんな」とない、香織は可愛いー!」って、何言ってるのっ!」「気付いてないのは本人だけで、男子に人気ある」ちよっとう!」「香織を他の男にとられたくない」ストップ、ストップ!」「今日のアンタ、ちよっとうおかしいよ……だっ、大丈夫?」

ドキッ♡
ドキッ♡

あわわっ

チョー
カワイヨッ!!
(´・ω・`)

ちよっ！ 本当に何脱いでるのよ、バカッ！

「証明しろって言うから」じゃないのっ！ 証明するにしたらって、

普通に考えれば、「こ」はキスするところでしょう、キスッ！

ふっふ

びく

びくびく

（うわっ、えっ？ 何これ、勃起してるって「と」？

昔一緒にお風呂に入った時とは全然違っ……どうしよう、目が離せない

これが男の人の……「こ」のおんおん……すっ、凄っ！

あつ、あのき……こんな状態で聞くのもあれだけど、

なんでお〇ん〇ん見せることが、私のことを好きだって証明になるって思ったの？

「香織に欲情してるのが伝われば、好きの証明になると思った」って、あんたねえ〜

もぎゅ

ぎんっ
ぎんっ

シヨボーン
(- ω -)

もおつ、仮にも物書きなんだから、もう少し想像力を働かせなさいってば

私だからよかったけど、他の子にこんなことしたら、完全に犯罪者だよ？

でも、そっかあ……あんた、私に欲情しちゃってるんだ、ふふん、そうなんだあ

わっ、私のことが好きだから、勃起しちゃってる……んだよね？

こんなに腫れあがったみたいになってるけど、痛くはないんだ？

なっ、なんか凄いな……あんたも男の人なんだって、今更ながらに実感してる

あうっ

びんっ
びんっ





ふえっ！「触ってみたいのか？」って……そう、そんなわけじゃないじゃないっ！
ただ、物珍しいから見てただけで私は別に……えっ、あんたが触って欲しいの？
「好きな女に触ってもらうのは男の夢」って……うっ、その言い方は卑怯じゃない？

ふえっ

ピクツ

ギンギン
ギンギン

えっと……それじゃあ触るけど、どんな感じにすればいいの？

最初は先っぱの部分を軽く撫でればいい？ うん、わかった……うわっ

えっ、ええっ！ 凄く熱いんだけど？ こ、これ本当に大丈夫なの？

わっ

さわっ

どん



だっ、大丈夫？ 痛かったりはしない？ そっ、そっか……わあっ
なんだか変な感触……もっと硬くてゴツゴツしてるのかと思ってたけど、
結構すべすべだし、柔らかくてプニプニしてる……面白いかも

わあっ

なで
なで

ゴク
ゴク



ねっ、ねえ？ そのっ……ふっ、袋？ の方も触ってみたいんだけど、いいかな？
だって気になるじゃん！ こんな機会なかったんだし……やった、優しく触るね
おおっ！ ほっ、本当に玉っぽいのが二個ある……うわあっ、凄っ！

おぼっ

すりっ
すりっ

いっ
いっ

ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ



凄いなあ、男の人の体って、本当にこうなってるんだあ、不思議だなあ
ふえっ？「うっ、ごめん、つい夢中になっちゃって……えっ、本格的に触って欲しい？
あっ……えっと、それって……いって欲しいってこと、だよな？

ふえっ？

さわっ
さわっ

ぶるるる
びりりり



んっ……しよっ、しよっがないなあ、特別にしてあげる

でも私、詳しいやり方は知らないから、ちゃんと教えてよ？

最初は全体を軽く握る？それから上下に動かす……こっ、こんな感じ？

んっ

すっすっすっすっ

グクッ
グクッ
グクッ



どう、どうかな、痛くない？ 私ちゃんと出来てる？

もう少し強く握って欲しいの？「う、これくらい？」

これで大丈夫そう？よかった、このまま続ければいいのね……わかった

んしょう

しょうしょう

んしょう



んしょう、よいしょう……ひゃう、なう、何？痛かった？」「う、うめんっ

へっ？気持ちよくて声が出ちゃっただけ？もう、ビククリさせないでよう！
何かまずい」としちやっただかと思っで、焦っちやっただじゃん

せっっっ

ツッコッ
ツッコッ

ぶるるる



はあっ、んしょう、んしょう……うん大丈夫、私は全然平気

あんたのほうこそ、痛かったら、すぐに言いなさいよ？

（最初に触った時より熱くなってきてる……手、火傷しちゃいそうなくらい熱い）

はあっ
ふっふっ

ジュッ
ジュッ
ジュッ

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

もじ
もじ
もじ

（さっきから「いっ、喘ぎ声出したり、おんおんビクビクしてさせたりして……

ひよっとして私、すっごくエッチなことしちゃってるのかなあ？

なんか頭がボーっとしてきちゃった、暑いなあ……制服の上、脱ぐっ）

ごめん、ちょっとだけたんまね、ふふ、あついで……よいしょと

お待たせ……って、何その残念そうな顔は？ あ、私が服全部脱ぐと思ったの？

そんなことするわけないじゃん、エッチイ、ふふ

ふふ

ウワギダケ…
(´・△・)

ブルルッ



わわっ！ ちよっと、何か先っぽから出てきてるんだけど、「これっておしっこ？」

違うの？ 我慢汁？ 男が気持ちよくなると出てくる液体……へえ、そうなんだあ

じゃあこれは、あんたの「こと気持ちよくできてるって証拠なんだあ、えへへ♡

えへへ♡♡

じわっ

♡キツ♡

♡キツ♡



うわあ、 さっきの我慢汁だったけ？ これって結構ヌルヌルするのね

手に絡まって、 又チャ又チャツて……なんかエッチな感じの音が出ちゃってる

あ、 でも滑りやすくなって、 さっきよりも動かしやすくなったかも

うわあ

ぬるぬる
ぬるぬる

ミクミク
ミクミク



ふっ、んうっ……え、なに？ 今度はどうしたの？ ええっ！ イツ、イきそっ？
それって、精子出ちやうってこと……だよね？ わっ、私はどうすればいいの？
このまましゝぎ続けて左手で受け止めるの？ せっ、精液を？ わっ、わかったっ！

ええっ

ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ

ズキッ
ズキッ
ズキッ

ズクッ
ズクッ
ズクッ



うわっ、凄く熱い……ふっっ、えっ？あっ、まだしいてたほうがいいの？

残った精液全部出し切らないと、スッキリしないんだ……へえ

んうっ、んしよう、よいしよう、凄く……本当にまだ出てくる

んうっ

んうっ
んうっ
んうっ

んうっ
んうっ
んうっ

んうっ
んうっ
んうっ



精液全部、出しきれた？ そっ、そっか……うん、それならよかった
それにしても凄い量が出たね、いつもこんなに落ちちゃうの？

「こんなに出したの初めてだ、好きな女にしてもらったからかな」って、何言ってるのっ！

はっ
ふっ
ふっ

キミ♡

ズク
ズク

恥ずかしいセリフをペラペラ言わないっ……もうっ、バカッ！

(左手、精液でドロドロになっちゃった……熱くてちよつと臭う、これが男の人の精液

んうっ♡♡どっししよう、お腹の奥が熱くなってきちゃった……♡)

なっ、なによ急に人の頭撫でて……「感謝の気持ち」って、なにそれ

まあ、今は大人しく撫でられてあげるけど……んうっ♡ もっと優しく撫でなさい

……とう、ところであんたは、これで私のことが好きって『証明』できたと思ってる？

なっ
なっ

んっ♡

どきどき♡♡

マカセナサイト!!
(*・ω・)

好きな相手にお〇ん〇んしごかせて、それで『証明』出来たって考えてるの？

……私はまだ、あんたの気持ち、理解しきれてないかもよ？

だっ、だからさ……もっと私にもわかりやすい方法で『証明』して欲しいな♡

えっと、私にもわかりやすく証明……してくれるんだよね？
さっきみたいに、いきなりズボン脱ぎだすみたいなの
変なこととは……流石にもう無しだからね

モジッ♡
モジッ♡

ズカッ♡
ズカッ♡

んっ





めっ♡

ぐい

ぐい♡

あっ♡ 今度こそキスするの？ ううん、嫌じゃないけど、

ほっ、本当に私相手に、キスしちゃうんだって思って……

「好きな女にキスしたくなるのは当然だと思っ」って、

んうっ、またそんな」と言っ…… 恥ずかしいっばあ♡



んっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ねえ、キスする前に……もう一回好きって言って欲しい

んっ♡嬉しい♡いいよ……キスして♡

ちゅっ♡ちゅっ♡んっ♡……ちゅっ♡ちゅっ♡

はあっ♡ふっ♡……もう一回キスウ……ちゅっ♡

ふふっ♡

なぐ
なぐ

んうっ……えへっ♡キス、しちやったね♡

でも、やっぱり順番的にはキスが先で、

次におんおんしぐくって流れだと思っただけどな〜ふふっ♡

あうんっ♡もっ、なんで頬撫でるの、誤魔化してるつもり？

「これで好きだって証明できたか」って?」

まっ、まだ半分……くらいしか私、理解できてないかも

あうっ

さらさら

ドキドキ♡♡♡

キス以外の方法で……もっと証明、して欲しいかなあゝなんて

えっ! おっぱいが見たいの? そっ、それは……えっと、

だっ、だめじゃないけど……あうっ、恥ずかし過ぎるよおっ

そっ、そんなに見たいの? そこまで言うなら……仕方ないなあ



んっ

おんっ♡

ぐい

うっっ……そう、そんなに何度も確認しなくていいっば

私のおっぱい見たいんでしょ？ なら、早くしてよ……んっっ

「大きくて凄く綺麗だ」って、そんな感想言わなくていいからっ

あうっっ、 恥ずかしくて死んじゃいそうだよおっ

ニヤニヤ

ほんっ♡

もお、おっぱい見すぎだってば、えっちいっ

ん、そしてやっぱり触りたいって言うのね……はあ

触ってもいいけど、その代わり先に……キスして

たっ、たくさんキスしてくれたら、おっぱい触っていいよ

んっ、ちゅっ♡ちゅっ、ちゅっ……はあっ、チュッ♡
はあっ、ふっ♡えへっ、凄いドキドキする♡

んふっ♡

さあっ
さあっ

ちゅっ♡
れろっ♡

ビクッ♡
ビクッ♡

えっ、舌同士のキスがしたい？それってディープキスってこと？

う、うん……ちよつと興味あるかな、ふふっ♡

舌を突き出して待てばいいの？んべえ……ほ、ほっ？

んあっ、んふっ♡れろっ、ちゅっ♡あむっ♡

ちゅっ、チュプツ♡はむっっ、れろっれろっ……はあっ、はあっ
んああっ♡「っ、「らあっ！なに勝手に乳首触って、んむっっ♡

やあっ♡

チュポツ♡
れろっ♡

ゾクッ♡
ゾクッ♡

クハハハ

レロレロツ、やああっ♡たっ、確かにたくさんキスしたら

触っていいって言ったけど、チュツ♡「こんな……はあんっ♡

キスしながら……んあっ♡ちゅっ、あむっっ♡

していいなんて、言っっっ……んちゅっ、れろっ♡

はぁんっ、もぅっ♡勝手に人の乳首を弄っちゃっ、んくぅっ♡
だめだって言ってるのにいっ……あぅっっ♡

はっ♡
ふぅっ♡

いっ
いっ
いっ

もっ♡
もっ♡
もっ♡

エッチなキスしすぎたせいかなあ？ なんだか頭がボーっとして、
体が……お腹の下のほうが凄く熱いの……はぶぅっ♡

えっ、「熱いならスカート脱がしてあげるよ」って、ちよっ！
だめっ、脱げる、自分で脱げるから、やめっ……あぁっ！



んんん

ズンズン♡♡

んんん

うっつ、スカート無理矢理脱がされたあ、もうお嫁に行けないっ
「それは好都合、俺が嫁に貰う」って、何言ってるのっ！

あんたがこんな野獣だったなんて……って、太もも撫でるなっ！
……機嫌を直して欲しいなら、キスしなさい、チューよ、チューー！

チュツ……はむっ、はむっ♡ふあっ、れるれるっ♡

んあっ♡「っ、」らあ、また乳首勝手に摘んでっ、はっっ♡

んあっ♡♡

ちゅぱっ♡♡

ブルッ♡ブルッ♡

ブルッ♡ブルッ♡

だめっ……ちゅぱっ、ちゅぱっ♡んっっ、んくっっ♡

いっ、嫌じゃないし、痛くもないけど……はっ、恥ずかしいっ

あむっっ♡♡「凄く可愛くて興奮する」っで、ばかあっ

っロっロっ♡恥ずかしいっと言っなあっ……んちゅっ♡

だめえっ

やあっ

ピクピク
♡

わっわっ
わっわっ

「うちも触ってあげないと」って……ちよっ！

そっちは……ちよつと待って、あっ♡やあん♡

「ちよっ！ほっ、本当に触っちゃっ、んああ♡

だめっ……だめだっばあっ、はっ♡♡

んああっ♡そんなスリスリしちゃっ、んちゅっ、はむっ♡
いっ、痛くはないけど、ああんっ♡だめっ、だめだっばあっ♡

めっ♡♡

んちゅっ♡♡
んちゅっ♡♡

んちゅっ♡♡
んちゅっ♡♡

んちゅっ♡

はあむっ、ちゅっ♡ちゅぱっ、んちゅっ……はふっ♡

（どっしょいっしょ、） 凄いい気持ちいい♡下着の上から軽く

撫でられてるだけなのに、腰がビクビクツツて動いちゃっ♡

ああっ、確認しなくてもわかる……私、濡れちゃってる♡♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡

ダク♡
ダク♡
ダク♡

ハダシ♡
ハダシ♡

あっ、 ああっ♡だめっ、 そんな速く動かしちゃっ、 ふあんっ♡
はっっ、 んっんっっ♡♡やあっ、 音出ちゃっ、 出ちゃっからあっ
くちゅくちゅっって……だめえっ、 聞かないでっ
恥ずかしいっ、 恥ずかしいの……気持ちいいのおっ♡

やあつ、なんで止めちやつ……あつ！ちつ、違つからつ！
別に続けて欲しかったわけじゃ……あつらつらつ

はあ♡♡♡

ふう♡♡♡

ナイトミニ
ナイトミニ

ちゅ♡♡♡
ちゅ♡♡♡

お尻お尻

「こっちもまた元気になったから、そろそろいいかな？」って、

ほっ、本当だ、お〇ん〇ん……また大きくなってる

そっ、そろそろって、そっいう……「と、だよね？」

あつ！パツ、パンツは自分で脱ぐからね、手出さないでよ！

私がいいって言うまで「こっち見ちゃだめだからね！」



.....本編へ続く